



“おいら”って何者？ ～おいらに会いに行ってみよう（年長お泊り保育）～

“おいら”から誘いを受けたそら組さんは、おいらに会いに行ってきました。バスに乗って出かけるだけでも子どもたちにとっては特別な一日ですが、この日は保育園に泊まるという年長さんにとっては一大イベントです。その朝、ドキドキ・ワクワクしているそらさんを見送ってくれたのはやまさんとうみさんでした。『いってらっしゃい』『がんばってね』とアーチを作って送ってくれました。楽しみだけど、少し緊張している様子のそらさんにたくさんのパワーを与えてくれました。異年齢で過ごす時間があるからこそその温かいつながりを感じました。いよいよ“おいらの森”に向かって出発です。その日はバスの運転手さんも仲間です。子どもたちの本気遊びの仲間に入ってくれて、途中、「こんな手紙が届いていたよ」と一緒になって子どもたちの世界を作ってくれました。“おいら”からの数々の手紙に導かれながら、“おいらの森”や“おいらの好きな川”など色々な場所でたくさん遊んできました。何者か分からない“おいら”を求めて旅に出た子どもたちですが、どんなイメージを持ってても仲間が認めてくれます。「おいらって〇〇かな…」「おいらってこわいの？なかまなの？」「おいらって△△じゃない？」と自分の思ったこと出しました。自分気持ちをありのままに仲間の中で言えることが大事です。それは安心できる仲間がいるからこそできることです。そらさんは親元を離れ、初めて保育園で一夜を過ごしました。楽しみが大きい中ですが、ふとした時に「さみしい…」と泣けてしまうこともありました。でもそんな時に寄り添ってくれたのはやはり同じ仲間です。「だいじょうぶだよ！」そんな一言が安心感を与えていました。でもその声をかけていた子も実は「おなかのいたいな…」と不安を口にしていたとか。担任があとで教えてくれました。僕も私も同じ思いだから大丈夫だよと伝えてくれていたのではないのでしょうか。無事に一泊保育を終え、翌朝のお迎えの時間に家族で顔を合わせた時のホッとした表情が子どもたちの気持ちを物語っていました。本当にありがとうございました。

どんぐり保育園は子どもたちが自然と関わることや仲間と関わりながら育っていくことを大事にしています。特に仲間の中では自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら、相談し合って物事を決め、一緒に楽しむ中から仲間づくりをしています。それは決して子どもたちだけであるものではありません。一緒に生活する大人がいてこそだと思います。子どもたちと同じように大人も思いを出し合い、話し合いをしながら進めています。職員だけではなく、保護者のみなさんも一緒になって楽しみ、仲間となります。そのような繋がりが子どもたちの繋がりとなり、保育園全体の繋がりになっていきます。これからも手を取り合って、子どもも大人も楽しい保育園生活を過ごしていきましょう。

プール納め～今年もたくさん水と触れ合いました～

今年も早い時期から水遊びを楽しんできましたが、あっという間に終わりを迎え、プール納めをしました。幼児クラスの子どもたちはこの夏で自信をつけたことをプールの中で披露してくれました。水の神様もきっと見守ってくれたことでしょう。この夏、力をつけてきたことがこれからの活動に繋がっていきます。秋になると散歩が再開され、運動会に向けての活動も始まります。そらさんたちはお泊り保育で仲間と色々なことを乗り越えてきました。その自信をもとに本格的に始まる異年齢活動の中で十分に力を発揮してくれることでしょう。楽しみです。何よりこの夏も、水と触れ合う活動を安全に行うことができよかったです。毎日の支度等、保護者の皆様にもご協力をいただきありがとうございました。